



プレスリリース

2017年3月13日

報道関係各位

アレクシオンファーマ合同会社

社長人事に関するお知らせ

アレクシオンファーマ合同会社（本社：東京都渋谷区）は、本年4月1日付で、伊藤 嘉規（いとう よしき）がアレクシオンファーマ合同会社の社長に就任する運びとなりましたのでお知らせいたします。

伊藤嘉規は、名城大学薬学部を卒業し、1989年にファイザー株式会社（旧アップジョン、ファルマシア）に入社後、営業およびマーケティングの要職を歴任。その後、ノボ ノルディスクファーマ株式会社のマーケティング部長を経て、2007年以降はMSD（旧 万有製薬）株式会社でワクチン・婦人科事業領域の事業部長を務めました。2012年にアラガン・ジャパン株式会社に入社し、執行役員メディカル・エステティック事業本部長、代表取締役社長を歴任した後、2017年1月1日付でアレクシオンファーマ合同会社のPNH・aHUS事業本部ヴァイスプレジデントとして入社いたしました。

なお、現社長のヘルマン ストレンガーは、2017年3月31日付で退職いたします。

アレクシオンファーマ合同会社について

アレクシオンファーマ合同会社は、アレクシオンファーマシューティカルズ（米国コネチカット州ニューヘイブン）の日本法人です。アレクシオンは、重篤な希少疾患を抱える患者さんの生活を一変させる治療薬の開発と提供に注力するグローバルなバイオ製薬企業です。アレクシオンは補体阻害におけるグローバルリーダーであり、生命を脅かす2つの超希少疾患である発作性夜間ヘモグロビン尿症（PNH）および非典型溶血性尿毒症症候群（aHUS）の治療薬として初めてかつ唯一承認されている補体阻害薬を開発し、製造販売しています。また、アレクシオンの代謝性フランチャイズは、低ホスファターゼ症（HPP）とライソゾーム酸性リパーゼ欠損症（LAL-D）といった生命を脅かす超希少疾患の患者さんに対する2つの非常に革新的な酵素補充療法を有しています。さらに、アレクシオンは、複数の治療領域にわたる極めて革新的な製品候補を擁し、バイオテクノロジー業界において最も強固な希少疾患パイプラインを進展させています。本プレスリリースとアレクシオンファーマ合同会社に関する詳細についてはwww.alexionpharma.jpをご覧ください。

《本件に関するお問い合わせ先》
アレクシオンファーマ合同会社 コミュニケーション部
TEL：03-5795-0740 FAX：03-5795-0765
Email：Info.Japan@alxn.com